



「アドーア」の2017年春夏はブラウスが売れ筋に
挙げた

担当バイヤーは「ドラマヤ、ヴェリイ」などの雑誌掲載の反響があり、新規顧客の獲

2017年春夏 百貨店婦人服 「アドーア」が高伸長

2017年春夏の全国36店舗の百貨店の婦人服売り場の売れ筋ブランドを調査した。売上高前年同士の伸長率が高かったブランドの店舗数をカウントした。上位にはサンエー・インターナショナルの「アドーア」(1位)と「ヒューマンウーマン」(2位)が挙げた。

「アドーア」は都心部の百貨店で前年同士の伸長率が伸長した。75%増だった博多阪急店の

得につながった。ブランド知名度が上がったことでフリー客の来店が増加。特に、マザーニーズの取り込みなど主婦層に人気が出ている。また、価格設定を抑えたアイテムが増え、支持層が増え客数アップした」とと分析する。西武池袋本店は「前年はスポーツミックスでエレガントさに欠けていたため、顧客の支持を得られなかったが、今季はブランドが得意とする立体的でモードなデザインがトレンドとも合致した」と話す。

「ヒューマンウーマン」は、清涼感のある麻素材のブラウスとワイドパンツのセット売りが動いた。「単品売りにならないスタイリング重視の構成が組まれていることで客単価が上がってきている。雑貨はバイイングからオリジナルヘシフト。ブランドらしさを

百貨店婦人服 前年同期比に見る伸長ブランドランキング

順位	ブランド名	好調店舗
1	アドーア	9店舗(大丸東京店、西武池袋本店、西武渋谷店、三越銀座店、そごう横浜店、ジェイアール名古屋タカシマヤ、阪急うめだ本店、大丸梅田店、博多阪急店)
2	ヒューマンウーマン	8店舗(藤崎、そごう千葉店、東武百貨店池袋店、京王百貨店新宿店、そごう横浜店、大丸梅田店、大丸京都店、山形屋)
3	レリアン	7店舗(丸井今井札幌本店、藤崎、東武百貨店池袋店、高島屋玉川店、名古屋三越栄店、高島屋京都店、博多阪急)
4	ボッシュ	6店舗(藤崎、大丸東京店、小田急百貨店新宿店、高島屋玉川店、高島屋横浜店、ジェイアール名古屋タカシマヤ店)
5	エボカ	5店舗(三越銀座店、三越日本橋本店、小田急百貨店新宿店、京王百貨店新宿店、博多阪急)
	45R	5店舗(大丸札幌店、西武池袋本店、伊勢丹新宿本店、阪急うめだ本店、岩田屋)
	ブリーツ ブリーズ イッセイ ミヤケ	5店舗(松屋銀座店、伊勢丹新宿本店、京王百貨店新宿店、ジェイアール京都伊勢丹、高島屋京都店)
	マッキントッシュフィロソフィー	5店舗(大丸札幌店、三越日本橋本店、京王百貨店新宿店、阪急うめだ本店、山形屋)
	セオリー	5店舗(三越日本橋本店、ジェイアール名古屋タカシマヤ、松坂屋名古屋店、ジェイアール京都伊勢丹店、大丸京都店)
	インディヴィ	5店舗(三越銀座店、東武百貨店池袋店、ジェイアール名古屋タカシマヤ、大丸京都店、そごう広島店)

弊紙8月28日号定期購読者向け付録「ビジネスレポート」で2017年春夏(2～6月)の全国36店舗の百貨店の66婦人服売り場を対象に、売上高前年同士の伸長率の高かったブランドを調査。表は好調ブランドに挙げた店舗数をランキング形式に並べたもの

追求しており今後も期待できる」と山形屋の担当バイヤー。

「レリアン」も堅調だった。顧客へのアプローチが強みだが、ウォッシュアブル素材などのイージーケア商品も好評だった。東武百貨店池袋店は「顧客比率が高いため、

顧客のランクアップに注力。前シーズンに初めてお買上げいただいたお客さまへも積極的に商品提案を行った。重衣料に偏らないブラウスやニットでの単品でのコーディネート提案に力を入れ、重衣料の落ち込みを軽衣料でカバーした」という。